

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第40週の発生動向

□ 全数報告の感染症（40週までに新たに届出のあったもの）

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 9 例。
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。4 類感染症：報告なし。
- 5 類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例、後天性免疫不全症候群 1 例、侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 例、風しん 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	60 歳代	女	結核性リンパ節炎	発熱
			90 歳代	女	肺結核及び結核性リンパ節炎	胸痛
		都城	70 歳代	女	肺結核	咳、発熱
		高鍋	20 歳代	女	無症状病原体保有者	—
			20 歳代	女	無症状病原体保有者	—
			30 歳代	女	無症状病原体保有者	—
			30 歳代	男	無症状病原体保有者	—
			30 歳代	女	肺結核	画像所見（舌区に小粒状影集簇）
		50 歳代	女	無症状病原体保有者	—	
3類	腸管出血性大腸菌感染症	高鍋	30 歳代	男	無症状病原体保有者	O115(VT1産生)
5類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	宮崎市	60 歳代	女	患者	菌血症 菌種名 (<i>Serratia marcescens</i>)
	クロイツフェルト・ヤコブ病	都城	50 歳代	女	古典型 クロイツフェルト・ヤコブ病 診断の確実度：ほぼ確実	進行性認知症、ミオクローヌス、錐体路症状、錐体外路症状、視覚異常、精神・知能障害、臨床的に頑固な不眠
	後天性免疫不全症候群	宮崎市	30 歳代	男	無症候性キャリア	—
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	宮崎市	70 歳代	女	患者	頭痛、発熱、意識障害、項部硬直、ショック、菌血症、関節炎
	風しん	宮崎市	30 歳代	女	検査診断例	発疹、発熱、リンパ節腫脹

□ 定点把握の対象となる5類感染症

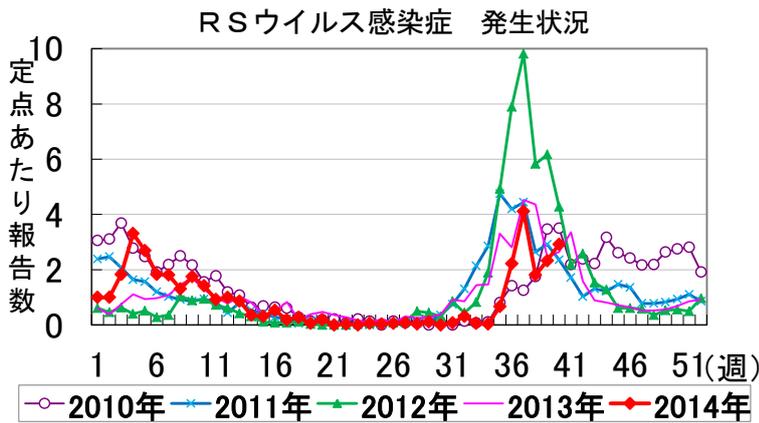
・定点医療機関からの報告総数は547人(定点あたり15.7)で、前週比92%と減少した。前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症と水痘で、減少した主な疾患は感染性胃腸炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

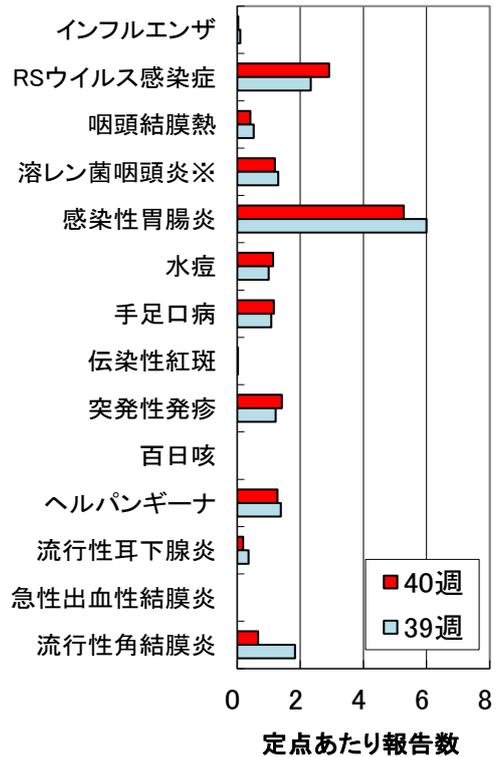
【RSウイルス感染症】

・報告数は105人(2.9)で、前週比125%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(2.6)の約1.1倍であった。年齢別では1歳が全体の約半数を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

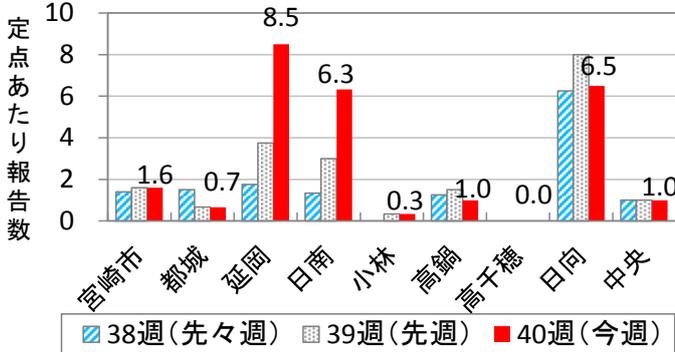


《前週との比較》

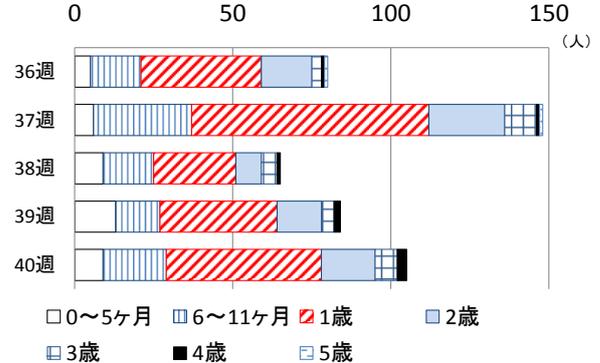


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

RSウイルス感染症 保健所別推移 (3週分)



RSウイルス感染症 年齢別推移 (5週分)



★流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	咽頭結膜熱(3.0)

* 流行警報レベル開始基準値*

・咽頭結膜熱(3.0)

□ 病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 平成 26 年 10 月 6 日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Salmonella</i> Hadar (O8(O6):z10:e,n,x)	30歳代	男	2014.9.16	—	便	2014.9.25
<i>Salmonella</i> Schwarzengrund (O4:d:1,7)	50歳代	女	2014.9.17	—	便	2014.9.25

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	検出日
コクサッキーウイルスA4型	1	男	2014.08.04	脳炎脳症、発熱、熱性けいれん、意識障害	咽頭ぬぐい液	2014.10.02
ライノウイルス	2ヶ月	女	2014.09.13	麻疹疑い、上気道炎(咽頭炎)、下気道炎(気管支炎)、発疹(紅斑)、哺乳低下、39.4℃	咽頭ぬぐい液	2014.10.03
ライノウイルス	1	女	2014.09.16	気管支喘息大発作、下気道炎(気管支炎)、39.0℃	咽頭ぬぐい液	2014.10.03
ライノウイルス RSウイルス	5ヶ月	女	2014.10.01	百日咳、ウイルス感染の疑い、下気道炎(気管支炎)、38.0℃	咽頭ぬぐい液	2014.10.03

○脳炎脳症の乳児からコクサッキーウイルス A4 型が分離された。当所では今年に入り 4 例分離されており、それぞれ、急性脳症疑い（熱性けいれん、意識障害）、ウイルス感染症疑い（熱性けいれん・横紋筋融解）、ヘルパンギーナ疑い（発疹）、脳炎脳症（熱性けいれん、意識障害）の小児であった。

○下気道炎を有する乳児 3 名からライノウイルスが検出された。そのうち 1 名は、ライノウイルス、RS ウイルス、百日咳との重複感染であった。ライノウイルス感染症は初秋と晩春に多く、普通感冒の 1/2～1/3 は本ウイルスが原因とされている。当所では、5 月～9 月にかけて 9 例検出されており、10 月以降の動向にも注意が必要である。

📊 全国第 39 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 39 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	339 例				
3類感染症	細菌性赤痢	3 例	腸管出血性大腸菌感染症	67 例	腸チフス	4 例
4類感染症	E 型肝炎	1 例	エキノコックス症	1 例	オウム病	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	1 例	チクングニア熱	1 例	デング熱	11 例
	日本紅斑熱	7 例	日本脳炎	1 例	マラリア	2 例
	レジオネラ症	23 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	9 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	8 例
	急性脳炎	1 例	クリプトスポリジウム症	1 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	4 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4 例	後天性免疫不全症候群	21 例	ジアルジア症	2 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	11 例	水痘（入院例）	6 例
	梅毒	15 例	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風	1 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関あたりの患者報告総数は前週比 98% とほぼ横ばいであった。今週大きく増加した疾患は A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎と水痘であった。減少した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナであった。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 3,740 人(1.2)で、前週比 120% と増加した。山口県(2.6)、鳥取県(2.5)、香川県(2.3)からの報告が多く、年齢別では 4 歳～6 歳が全体の約 4 割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は 1,976 人(0.63)で、前週比 68% と減少した。北海道(2.1)、福島県(1.8)、宮城県(1.7)からの報告が多く、年齢別では 1～2 歳が全体の約 4 割を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2014年 第40週(09月29日～10月05日)

疾病名		第39週	第40週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	6	2					1	1			
	定点あたり	0.10	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.20	0.17	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	84	105	16	4	34	19	1	4		26	1
	定点あたり	2.33	2.92	1.60	0.67	8.50	6.33	0.33	1.00	0.00	6.50	1.00
咽頭結膜熱	報告数	19	15	2		7	1			1	1	3
	定点あたり	0.53	0.42	0.20	0.00	1.75	0.33	0.00	0.00	1.00	0.25	3.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	47	43	11	4	12	1	1	4	3	5	2
	定点あたり	1.31	1.19	1.10	0.67	3.00	0.33	0.33	1.00	3.00	1.25	2.00
感染性胃腸炎	報告数	216	190	33	34	28	25	36	8	3	21	2
	定点あたり	6.00	5.28	3.30	5.67	7.00	8.33	12.00	2.00	3.00	5.25	2.00
水痘	報告数	36	41	7	5	13	2	3	5		6	
	定点あたり	1.00	1.14	0.70	0.83	3.25	0.67	1.00	1.25	0.00	1.50	0.00
手足口病	報告数	39	42	3	7	13		14	1		4	
	定点あたり	1.08	1.17	0.30	1.17	3.25	0.00	4.67	0.25	0.00	1.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	1	1		1							
	定点あたり	0.03	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	44	51	17	11	10	2	5	4		2	
	定点あたり	1.22	1.42	1.70	1.83	2.50	0.67	1.67	1.00	0.00	0.50	0.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	50	46	25	3	7			6	1	3	1
	定点あたり	1.39	1.28	2.50	0.50	1.75	0.00	0.00	1.50	1.00	0.75	1.00
流行性耳下腺炎	報告数	13	7	1		4					2	
	定点あたり	0.36	0.19	0.10	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	11	4	4								
	定点あたり	1.83	0.67	1.33	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2014年第1週～40週)

2類感染症	結核	176例(9)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	23例(1)				
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	15例	重症熱性血小板減少症候群	11例
	つつが虫病	6例	日本紅斑熱	5例	ボツリヌス症	1例
	レジオネラ症	11例				
5類感染症	アメーバ赤痢	4例	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム腸内細菌感染症	1例(1)
	急性脳炎	5例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例(1)	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例
	後天性免疫不全症候群	9例(1)	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例(1)	侵襲性肺炎球菌感染症	9例
	梅毒	10例	破傷風	1例	風しん	3例(1)
	麻しん	4例				

()内は今週届出分、再掲